



平成30年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年8月10日

上場会社名 F I G株式会社 (モバイルクリエイイト株式会社分) 上場取引所 東・福
 コード番号 4392 URL <http://www.figinc.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村井 雄司
 問合せ先責任者 (役職名) モバイルクリエイイト株式会社 取締役経営企画室長 (氏名) 岐部 和久 (TEL) 097-576-8181
 四半期報告書提出予定日 — 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第2四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第2四半期	4,127	11.4	189	82.2	234	62.8	56	15.7
29年12月期第2四半期	3,704	—	103	—	144	—	48	—

(注) 包括利益 30年12月期第2四半期 93百万円(3.3%) 29年12月期第2四半期 90百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第2四半期	2.44	2.42
29年12月期第2四半期	2.11	2.09

(注) 平成28年12月期は決算期変更の経過期間となることから、平成28年12月期第2四半期連結財務諸表を作成しておりません。このため、平成29年12月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第2四半期	11,317	7,684	40.5
29年12月期	11,419	7,703	41.0

(参考) 自己資本 30年12月期第2四半期 4,586百万円 29年12月期 4,682百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	0.00	—	5.00	5.00
30年12月期	—	0.00	—	—	—
30年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

F I G株式会社の平成30年12月期の連結業績予想及び期末配当予想につきましては、F I G株式会社の「平成30年12月期の連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ」(平成30年8月10日発表)をご参照下さい。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年12月期2Q	23,157,600株	29年12月期	23,157,600株
② 期末自己株式数	30年12月期2Q	—株	29年12月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年12月期2Q	23,157,600株	29年12月期2Q	23,157,600株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

モバイルクリエイイト株式会社は、株式会社石井工作研究所と平成30年7月2日をもちまして共同株式移転の方法により共同持株会社であるF I G株式会社を設立しております。

F I G株式会社の平成30年12月期の連結業績予想及び期末配当予想につきましては、F I G株式会社の「平成30年12月期の連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ」(平成30年8月10日発表)をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、既存事業の拡大と新規ビジネスへの挑戦を掲げて、成長するIoT市場におけるビジネスモデル構築をすすめております。

情報通信事業については、新商品開発に注力するとともに、よりストックビジネスを拡大するための積極的な営業展開を推進しております。

装置等関連事業については、自動車の電動化・高機能化による電子部品需要の拡大により、半導体関連装置とともに自動車設備関連装置の受注・売上が好調に推移しております。

また、新規ビジネス展開として、自らマップを作って動き回る自動搬送ロボットの研究開発をすすめております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は4,127,600千円（前年同期比11.4%増）、営業利益は189,402千円（同82.2%増）、経常利益は234,446千円（同62.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は56,448千円（同15.7%増）となりました。

報告セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(i) 情報通信事業

外部顧客への売上高は1,959,553千円（前年同期比7.1%減）、営業損失は13,379千円（前年同四半期は営業利益105,944千円）となりました。

(ii) 装置等関連事業

外部顧客への売上高は2,168,047千円（同35.9%増）、営業利益は204,647千円（前年同四半期は営業利益6,533千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、11,317,796千円となり、前連結会計年度末と比べ102,199千円減少しました。これは主にたな卸資産が305,836千円増加したものの、現金及び預金が271,890千円減少したこと及び投資有価証券が89,366千円減少したことによるものであります。

負債合計は、3,633,151千円となり、前連結会計年度末と比べ83,470千円減少しました。これは主に支払手形及び買掛金が70,305千円増加したこと及び長期借入金が78,762千円増加したものの、短期借入金が100,000千円減少したこと及び未払法人税等が91,398千円減少したことによるものであります。

純資産合計は、7,684,644千円となり、前連結会計年度末と比べ18,728千円減少しました。これは主に非支配株主持分が73,523千円増加したこと及び親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が56,448千円増加したものの、配当金の支払いにより利益剰余金が115,788千円減少したこと及びその他有価証券評価差額金が35,504千円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ271,890千円減少し、1,274,565千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、7,819千円のプラスとなりました。主な増加要因は、仕入債務の増加36,498千円、税金等調整前四半期純利益234,446千円、減価償却費241,407千円であり、主な減少要因は、法人税等の支払額134,525千円、たな卸資産の増加305,836千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、133,950千円のマイナスとなりました。主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出65,540千円、無形固定資産の取得による支出92,534千円であり、主な増加要因は、補助金の受取額32,001千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、144,561千円のマイナスとなりました。主な減少要因は、長期借入金の返済による支出101,198千円、配当金の支払115,366千円であり、主な増加要因は、長期借入れによる収入200,000千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

F I G株式会社の平成30年12月期の連結業績予想及び期末配当予想につきましては、F I G株式会社の「平成30年12月期の連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ」(平成30年8月10日発表)をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,546,456	1,274,565
受取手形及び売掛金	2,960,640	3,018,318
たな卸資産	1,698,607	2,004,443
その他	325,383	283,750
貸倒引当金	△19,053	△15,716
流動資産合計	6,512,033	6,565,362
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,413,649	1,413,649
その他(純額)	1,430,402	1,433,336
有形固定資産合計	2,844,052	2,846,986
無形固定資産		
667,626		616,482
投資その他の資産		
投資有価証券	987,188	897,822
退職給付に係る資産	271,895	267,789
繰延税金資産	32,899	20,309
その他	110,090	108,586
貸倒引当金	△5,790	△5,541
投資その他の資産合計	1,396,283	1,288,964
固定資産合計	4,907,962	4,752,434
資産合計	11,419,995	11,317,796
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,186,161	1,256,466
短期借入金	500,000	400,000
1年内償還予定の社債	20,800	11,700
1年内返済予定の長期借入金	302,396	322,436
未払法人税等	163,753	72,354
引当金	48,768	51,534
その他	406,358	397,371
流動負債合計	2,628,237	2,511,863
固定負債		
社債	300,000	300,000
長期借入金	558,327	637,089
リース債務	22,220	11,468
繰延税金負債	150,930	116,349
役員退職慰労引当金	14,407	18,257
退職給付に係る負債	13,822	17,646
その他	28,677	20,478
固定負債合計	1,088,384	1,121,288
負債合計	3,716,622	3,633,151
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,004,678	1,004,678
資本剰余金	994,388	1,006,186
利益剰余金	2,644,006	2,572,781
株主資本合計	4,643,073	4,583,646
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	69,273	33,768
為替換算調整勘定	1,014	562
退職給付に係る調整累計額	△31,033	△31,909
その他の包括利益累計額合計	39,253	2,421
新株予約権	96,150	100,157
非支配株主持分	2,924,895	2,998,419
純資産合計	7,703,373	7,684,644
負債純資産合計	11,419,995	11,317,796

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
売上高	3,704,026	4,127,600
売上原価	2,622,989	2,946,701
売上総利益	1,081,036	1,180,898
販売費及び一般管理費	977,106	991,496
営業利益	103,930	189,402
営業外収益		
受取利息	3,167	3,151
受取配当金	5,465	6,998
補助金収入	33,100	32,001
その他	19,087	10,921
営業外収益合計	60,819	53,072
営業外費用		
支払利息	7,198	6,577
固定資産除却損	11,073	0
その他	2,453	1,450
営業外費用合計	20,725	8,028
経常利益	144,024	234,446
税金等調整前四半期純利益	144,024	234,446
法人税、住民税及び事業税	78,533	48,592
法人税等調整額	△12,963	17,467
法人税等合計	65,569	66,060
四半期純利益	78,454	168,386
非支配株主に帰属する四半期純利益	29,660	111,937
親会社株主に帰属する四半期純利益	48,794	56,448

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	78,454	168,386
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,864	△72,654
為替換算調整勘定	△919	△451
退職給付に係る調整額	3,727	△2,139
その他の包括利益合計	11,671	△75,246
四半期包括利益	90,126	93,140
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	57,966	19,616
非支配株主に係る四半期包括利益	32,159	73,523

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	144,024	234,446
減価償却費	220,508	241,407
株式報酬費用	7,279	4,730
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,177	△3,586
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	14,544	987
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	2,598	△6,629
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	2,332	3,824
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6,332	9,394
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	3,239	3,850
受取利息及び受取配当金	△8,632	△10,149
支払利息	7,198	6,577
補助金収入	△33,100	△32,001
固定資産除却損	11,073	0
売上債権の増減額 (△は増加)	760,662	△57,677
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△293,728	△305,836
仕入債務の増減額 (△は減少)	167,391	36,498
リース投資資産の増減額 (△は増加)	△10,976	12,646
その他	△117,467	△418
小計	882,100	138,064
利息及び配当金の受取額	8,759	10,276
利息の支払額	△6,895	△5,995
補助金の受取額	3,100	-
法人税等の支払額	△62,818	△134,525
営業活動によるキャッシュ・フロー	824,245	7,819
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△417,765	△65,540
有形固定資産の売却による収入	113,128	504
無形固定資産の取得による支出	△213,206	△92,534
投資有価証券の売却による収入	3,183	-
投資有価証券の取得による支出	△54,775	△11,340
貸付金の回収による収入	1,020	1,020
補助金の受取額	30,000	32,001
その他	△4,719	1,938
投資活動によるキャッシュ・フロー	△543,133	△133,950
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△200,000	△100,000
長期借入れによる収入	300,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△126,224	△101,198
社債の償還による支出	△9,100	△9,100
配当金の支払額	△69,002	△115,366
その他	△19,900	△18,897
財務活動によるキャッシュ・フロー	△124,226	△144,561
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,335	△1,197
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	155,549	△271,890
現金及び現金同等物の期首残高	1,473,994	1,546,456
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,629,543	1,274,565

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額(千円)	1株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年3月28日 定時株主総会	普通株式	69,472	3.00	平成28年12月31日	平成29年3月29日	利益剰余金

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成30年1月1日 至 平成30年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額(千円)	1株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成30年3月27日 定時株主総会	普通株式	115,788	5.00	平成29年12月31日	平成30年3月28日	利益剰余金

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	情報通信事業	装置等 関連事業			
売上高					
外部顧客への売上高	2,108,755	1,595,270	3,704,026	—	3,704,026
セグメント間の 内部売上高又は振替高	4,153	8,748	12,901	△12,901	—
計	2,112,909	1,604,018	3,716,928	△12,901	3,704,026
セグメント利益	105,944	6,533	112,477	△8,547	103,930

(注) 1. セグメント利益の調整額△8,547千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成30年1月1日 至 平成30年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	情報通信事業	装置等 関連事業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,959,553	2,168,047	4,127,600	—	4,127,600
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	20,904	20,904	△20,904	—
計	1,959,553	2,188,952	4,148,505	△20,904	4,127,600
セグメント利益又は損失(△)	△13,379	204,647	191,268	△1,866	189,402

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,866千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

平成30年3月27日に開催されたモバイルクリエイイト株式会社定時株主総会及び平成30年3月23日に開催された株式会社石井工作研究所定時株主総会において、モバイルクリエイイト株式会社及び株式会社石井工作研究所が共同して株式移転により完全親会社「F I G株式会社」を設立することが承認可決され、平成30年7月2日に同社が設立されました。